

ずっと小さいところで仕事して思った
ことを話します

北海道大学工学部 もぎたかのり

自己紹介

北海道大学工学部 B4（来年度から休学 2 年目 w）

メインはスタートアップでソフトウェアの開発

- TypeScript
 - しかできない！w
- その他、エンジニアコミュニティの運営

過去には、コワーキングスペースでのイベント企画をチラッと、ハッカソンの企画をしたり、あとバーでシェイクしたり。

興味のあること、好きなこと

- リベラルアーツ
- 天文学
- 生物学
- サウナ
 - なにわ健康ランド湯～トピア（大阪）
 - The sauna（長野）
 - 貸切なので外気浴中に kindle で読書ができる！！
- ブロックチェーン（最近 solidity を始めました w）

今日話すこと

自分のエンジニア経歴から見る、違和感や気づきについて

ひたすら自分語りです。しんどいと思いますがご容赦。

自分の経歴について

- 大学 1 年~2 年終わりまで
 - プログラミング手をつける -> 2 週間で辞める ×3 回
 - 一緒にやる友達がいない
 - プログラミングを勉強する理由がない（作りたいものがない）
- 2 年終わりごろ（2020 年 3 月）北大 IT 研究会に行ってみる
 - 友達できた！楽しい！
- フロントエンドの勉強をする
 - 2 週間で自分のウェブサイトを作った（Nuxt.js（なんで Nuxt?

- プログラミングを勉強して4ヶ月（その年の夏始め頃）
 - 知り合いがインターンを紹介してくれる → 弾丸で参加
 - ずっとそこで開発のインターン（というかほぼバイト）
 - クソコードだけど管理画面を全部作りました
- 12月 お金がなくて wantedly で見つけたところに応募する（スタートアップ）
 - なぜか受かる w
 - React に入門して、Vue アンチになる
- そして、就活うまくいかない

休学！！！！

- 長期インターンを受け入れてくれるスタートアップを見つける
 - Rails と Elixir (why?)
 - ちょっと成長してた
 - webpack のバージョンを 1 から 5 にあげた
 - class コンポーネントを全部 FC に書き直す土壌を作った
- 今
 - 最初のインターン先に復活する
 - クソコードばっかでリファクタの嵐 w
 - 新しいスタートアップで開発する
 - ブロックチェーン界隈に侵入する

何が起きたのか

ポジティブ

- いろんなつながりが生まれた
- 企業の人も、好きなように突き進んでいるという観点で評価してくれた
- お金を稼ぐ土壌はできた
- スタートアップのあれこれをしれた
 - ビジネス要件のスピード感と、技術的な観点（汚いコードでもしょうがない）

ネガティブ

- インプットとアウトプットのバランスがオワコン
 - ほとんど input していない
 - （技術系以外でさえも）本も読んでなければ、新しい技術に入門しているわけでもない
 - ひたすら TypeScript をアウトプットしていただけ
 - 企業での長期バイトは、なんやかんや雑務等も多いです
 - 自分が成長したいベクトルと必ずしも一致しているとは限らない

- 何もできないことに気づくことが多い
 - ゼロイチで何かを生み出せるようになったわけではない
 - 例えば、ハッカソン
 - 世の中のことを全然知らない
 - それこそ、リベラルアーツとか、世界情勢とか、面白い会社とか、常識とか、敬語とか
- 扶養を外れてしまった
 - 保険料とか税金とかを払わないといけない
 - 生きていくために働かないといけない（負の連鎖 w）

インターン自体を否定しているわけではないです。

気づき

- 全てに対して why?と投げることの重要性
 - インターンの目的も、最初はふわっとしすぎていた
 - 3年で焦っていた
 - その企業でどこまで何をしたいのか、どのくらい自分の時間を使いたいのかを考えることは重要です（とても 22 歳の気づきとは思えない w）
- 自己分析の重要性
 - mogi は人生で何をしていたいんだ？という問いかけを今まで全くしてなかった

- 目先のお金より長期的な視野をとらえることの重要性
 - 正直、お金がなかったので安全の欲求を満たすためにインターンしている節がありました。
- 自己マネジメントの重要性
 - お金を稼いでいたはずなのに、お金がない！
 - 時間がない！
 - 勉強したいんじゃないんですか？
- **もっと勉強したい！！！！**
 - 教養が欲しい
 - **体系的に学ぶ気持ち**

まとめ

- 自己分析、自己マネジメントしっかりしようね
- 小さい会社はメリットデメリットが大きいので、より目的を明確にする必要があると感じました